

健康管理クラウドサービスが切り開くHRテクノロジーの新領域

グローバル規模で展開するさまざまな業種のリーディング企業が導入する健康管理クラウドサービス。同社では、法令に基づく従業員の健康管理を進化させ、健康経営の視点からも活用が期待される従業員の健診結果データ等をクラウド上で管理・可視化させ、超人手不足時代における戦略的・個別化健康管理を実現する。

従業員の健康管理にイノベーションをもたらす

HRテクノロジーは、ダイバーシティの推進、働き方改革、DX、SDGs等、企業経営における重要テーマの対応や、人事関連業務を通じて取得・蓄積された従業員データを利活用するツールとして、人事の業務改善や組織の生産性向上に役立てられる。そのなかでも、各地に点在する従業員やその家族の健診、その後のフォロー等を行う業務の負荷軽減や健診データ等の利活用は、HRテクノロジーの領域でも大きく注目を集めている。なぜなら、従業員の

健康管理が働き方改革の推進と密接に関係すること、従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践する「健康経営」に大きく貢献することが期待されているからだ。

従業員の健康管理にイノベーションを起こすリーディングカンパニーがウェルネス・コミュニケーションズだ。同社では企業・健康保険組合を顧客とし、SaaSによる健康管理クラウドサービスを提供。この健康管理クラウドサービスを構成するのが「ヘルスサポートシステム(H.S.S.)」と「ネットワーク健診サービス(iWellness)」だ。同社の代表取締役社長・松田泰秀氏は、この2つのサービス

について語ってくれた。

「当社のことをHRテック企業と考えている人は少ないかもしれませんが、刷新した2つのクラウドサービスは、それぞれ技術を活用し、従業員の健康管理に欠かせない健診データやメンタルヘルスデータ、就労データ等を可視化するUI・UX、健康管理が必要な対象群を抽出し、面談や保健指導等の業務を効率化する機能、その進捗状況を可視化する機能などを提供しています」

H.S.S.が誕生したのは2003年。当時、従業員の健診結果は企業の各拠点のPCなどで管理されるが、紙で集められ保存されていた。しか

0人を超える産業医や産業保健スタッフユーザーなどの要望を反映し、新たな法制度の対応も行いながら改良を重ねてきました。多くの企業に導入され、磨き上げられながら必要な機能を充実させ、昨年刷新されました。データを格納する箱を提供するのみならず、データを一元化し登録する機能を持つことも、当社の特長です」(松田氏)

結果として、H.S.S.は、導入時に大きなカスタマイズやデータ移行

工数を必要とせず、さまざまな業種のトップ企業が導入しており、同社の健康管理クラウドサービスの汎用性と信頼性の高さを証明している。

2000医療機関と提携 健診データ一元化まで代行

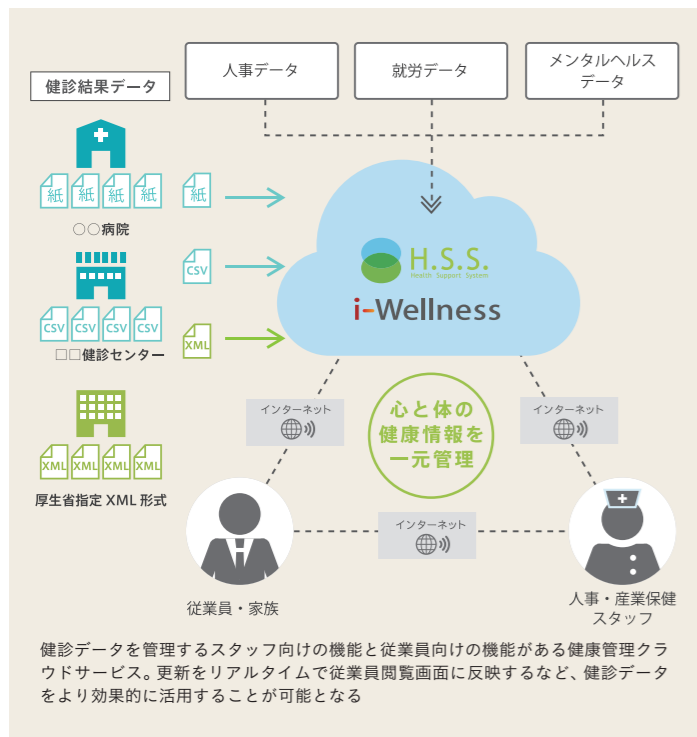
iWellnessは全国約2000の提携医療機関を結び、企業・健康保険組合が行う健診を、医療機関の検索や予約、精算、結果デー

タの一元化まで一括代行するサービスだ。健診予約の進捗状況をリアルタイムで可視化できるほか、健診結果データの検索や各種帳票のダウンロードなども可能となる。従業員は、健診の予約・変更が専用ページを通じて24時間可能で利便性も高い。

精度管理を追求した情報処理工程がサービスを支えている。「医療機関によって健診結果の基準値が異なり、判定の記号もバラバラです。これを当社でデータ化、一元化します。この工程には多くの技術及び人材投資を継続しており、情報処理システムには約3000種類のエラー検知機能等があり、項目の過不足や判定の不備などを検知しています」(有岡氏)

半自動化を視野に サービスはさらなる進化へ

健康管理クラウドサービスのビジョンについて松田氏は「経営者や健康管理担当者向けのダッシュボード機能の整備や、さまざまなデータとの連携機能を強化し、従業員一人ひとりの健康支援につなげていきたい」と話す。「すでに他社と共同開発した従業員健康管理アプリを市場投入しています。今後は、他社との



Info.
ウェルネス・コミュニケーションズ
 Wellness Communications
ウェルネス・コミュニケーションズ株式会社
 〒108-0073
 東京都港区三田1-4-28 三田国際ビル 22階
 TEL: 03-6858-3251
 wellcoms.jp



ウェルネス・コミュニケーションズ株式会社 執行役員 IT・データソリューション事業統括
有岡昌輝氏



ウェルネス・コミュニケーションズ株式会社 代表取締役社長
松田泰秀氏

自律神経測定をスマホで行う従業員の健康状態モニタリングサービス

「ANBAI」は、約300万ダウンロードを記録したDUMSCOのストレス測定アプリ「ストレスキャン」の技術とデータを活用し、従業員の体調変化のモニタリングを行うサービスだ。利用方法は、スマートフォンのカメラで心拍数を測定し、そ

の変動から自律神経の状態をスマホ画面上で確認するというもの。従業員はストレスの度合いやエネルギーレベルを確認でき、企業の健康管理担当者は組織やチームの健康状態を管理可能。企業の健康経営への貢献が期待されている。

